

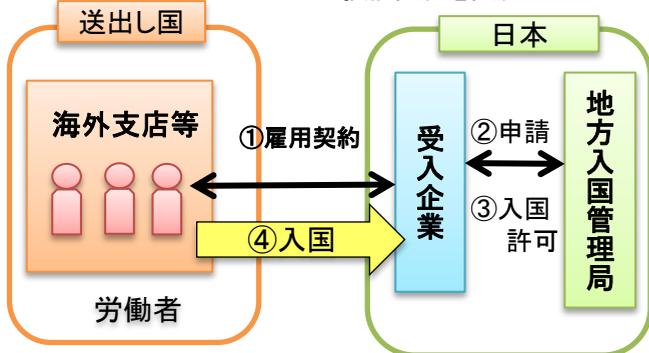
# 技能実習制度の仕組み

開発途上国等の「人づくり」に一層協力するため、技能移転の仕組みとして平成5年に創設。(平成22年7月:改正入管法の施行)

## 技能実習制度の受入れ機関別のタイプ

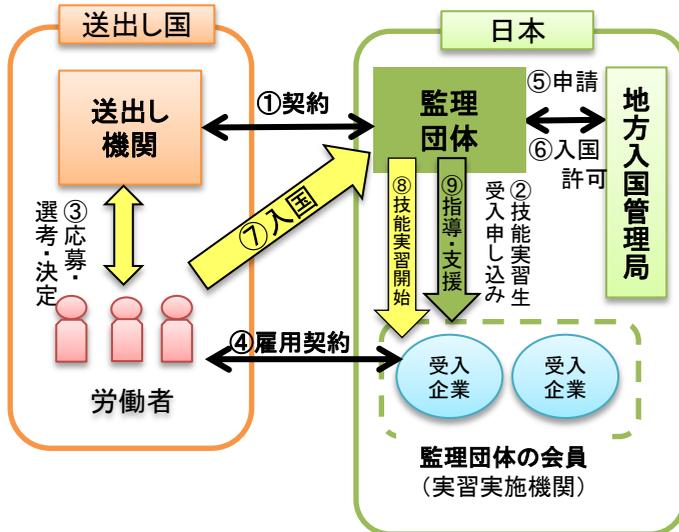
### 【企業単独型】

日本の企業等が海外の現地法人、合併企業や取引先企業の職員を受け入れて技能実習を実施

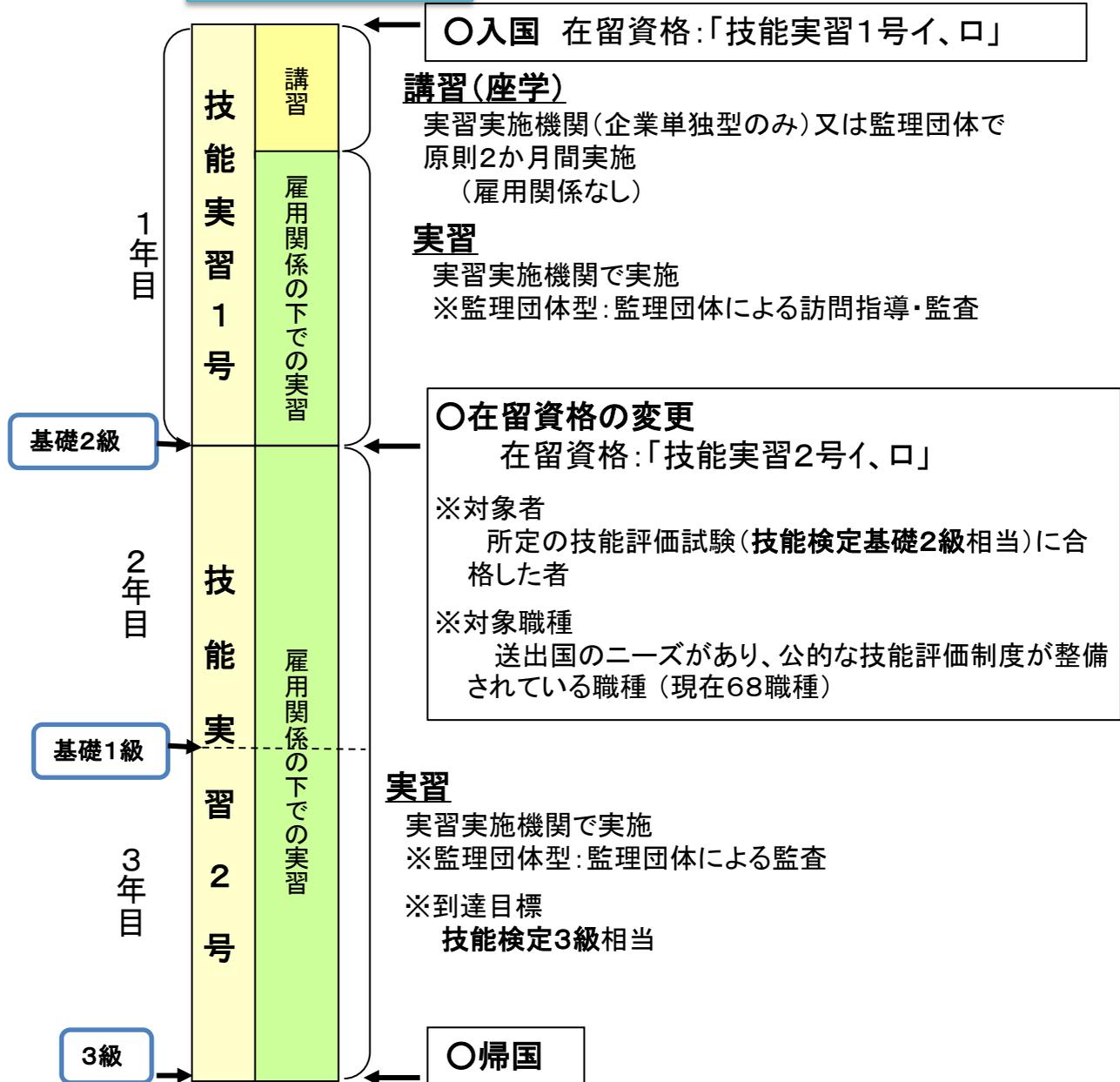


### 【団体監理型】

営利を目的としない団体(監理団体)が技能実習生を受入れ、傘下の企業等で技能実習を実施



## 技能実習の流れ



○入国 在留資格:「技能実習1号イ、ロ」

### 講習(座学)

実習実施機関(企業単独型のみ)又は監理団体で原則2か月間実施  
(雇用関係なし)

### 実習

実習実施機関で実施  
※監理団体型: 監理団体による訪問指導・監査

### ○在留資格の変更

在留資格:「技能実習2号イ、ロ」

※対象者

所定の技能評価試験(技能検定基礎2級相当)に合格した者

※対象職種

送出国のニーズがあり、公的な技能評価制度が整備されている職種(現在68職種)

### 実習

実習実施機関で実施  
※監理団体型: 監理団体による監査

※到達目標

技能検定3級相当

○帰国